

キリスト教社会福祉学研究

37号

Christian Social Welfare Science

2004



巻頭言	キリスト教社会福祉の源流 — 横軸としての共感、連帯、縦軸としてのキリストの愛 —	市川 一 宏
論文	I 福音と社会の結合(「連字符」): 嶋田啓一郎の神学をめぐって	木原 活 信
	II キリスト教的人間観と福祉教育	江藤 直 純
投稿論文	I ジョージ・ランズベリ研究III: ランズベリの(大学)セツルメント観	津崎 哲 雄
	II 米国におけるヒューマンサービス・ワーカーの発展 — その概念と日本への応用可能性 —	宮本 義 信
	III 神学と社会福祉 — ラインホルド・ニーバーの視点から —	松本 尚
	IV 社会福祉に対する神学からの提言としての一考察 — パウロにおける「キリストの奴隷」のメタファーとミメシスの決定性 —	古川 敬 康
	V 英国クリスチャン・ソシヤリズムとオクタヴィア・ヒル	松平 千 佳
研究ノート	重症心身障害のある子をもつ親の疲労徴候と支援の方向性	横川 剛 毅
実践レポート	障害の枠を越え、さらに共生社会をめざして — 全国障害者スポーツ大会に選手として参加した体験から —	北川 美 香
第45回大会特集	開会礼拝 奨励 『この世に做ってはならない』—キリスト教社会福祉の原点—	梶原 壽 尚
	基調講演 『流れの小石』—神学と福祉の小さな対話—	徳川 輝 尚
	シンポジウム「キリスト教社会福祉の使命 — 神学と社会福祉の対話 —」	
	発題要旨1 キリスト教と社会福祉の接点	木原 活 信
	発題要旨2 キリスト教社会福祉の原点・ディアコニア — 現代で神学と対話しつつ社会福祉を生きたボーデルシュヴィングに学ぶ —	門脇 聖 子
	発題要旨3 神学と社会福祉の対話	北村 次 一
	シンポジウムコメント	原 木 哲 夫
書 評	I 阿部志郎著『地域福祉のこころ』	滝 口 真
	II 三原博光著『「介護の国際化」—異国で迎える老後—』	峯 本 佳世子
	III 杉山博昭著『キリスト教福祉実践の史的展開』	永 岡 正 己